

熱傷・薬傷症例検討会

産業都市特有の疾患に熱傷や薬傷があります。鹿島臨海工業地帯ではこれらの事故はどのように発生していて、どのような治療が必要とされているのでしょうか。

神栖市若手医師きらっせプロジェクトでは、産業都市で就業する病院や診療所をはじめ、救急隊、企業のみなさんが、熱傷や薬傷のイロハを学び、非常時に備えておくことは、とても有意義であると考えました。2年目となる令和6年度は、薬傷（化学熱傷）の基本的な理解を深めることをテーマに、化学熱傷に造詣の深い講師をお招きし、全2回を開催します（第4回/10月3日、第5回/12月5日）

医療人のみならず多くの関係者に開いた研修会です。職種を問わず、積極的なご参加をお待ちしています。

日程が変更になりました

令和6年

12/~~5~~ → 4 (水)

時間 午後6時～午後7時50分
会場 かみす防災アリーナ
(神栖市木崎1219-7)

講義

化学損傷 (Chemical Injury)

慶應義塾大学医学部救急医学 教授
慶應義塾大学病院 副病院長
日本スキンバンクネットワーク 代表理事

ささき じゅんいち

佐々木 淳一 先生

(略歴)

1989年 慶應義塾大学医学部卒業
2016年 慶應義塾大学教授（医学部救急医学）
2021年 慶應義塾大学病院副病院長

日本救急医学会理事、日本熱傷学会理事、日本救命医療学会理事長
一般社団法人日本スキンバンクネットワーク（JSBN）代表理事
独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）専門委員



座長



神栖済生会病院 副院長
にし いさお 西 功 先生

○対象者 市内及び関係医療機関の医師・看護師・コメディカル・事務職、
歯科診療所、薬局、企業、市修学生、救急隊など

○参加方法 会場参加 or ウェブ参加

○申込方法 右のQRコードから申込フォームへ

申込期限：令和6年11月8日（金）



●お問い合わせ

神栖市若手医師きらっせプロジェクト事務局（神栖市役所 地域医療推進課）

☎0299-77-8207 ※平日8:30~17:15 ✉iryo@city.kamisu.ibaraki.jp